

■事業を進めていく上での事業協力者の役割

《事業化検討パートナー》

事業化検討パートナーとは、事業化に向けての相談相手であり、事業の収束までを見込んでエンドユーザーの見通しをつけ、業務代行者に移行することを視野に、事業成立性の検討を行う民間企業

【事業化検討パートナーの役割】

- ・会員の意向把握活動への参画及び合意形成の支援
- ・事業成立性の検討

《業務代行予定者》

保留地の取得等を条件として、土地区画整理組合の運営に関する業務及び土地区画整理事業の施行の推進に関する業務を代行する業務代行者に移行することを前提に、準備組合の支援者として本組合設立・認可への支援業務と業務費用の立替を行う民間企業

【業務代行予定者の役割】

- ・事務局運営支援
- ・組合設立認可申請に必要な測量、調査設計並びに事業計画書・定款等諸案の作成
- ・関係機関、認可官庁との協議・申請
- ・その他組合設立に必要な事項
- ・上記対応に伴う費用の立替

《業務代行者》

業務代行予定者が組合（法人格）と業務代行契約を締結し業務代行者に移行

【業務代行者の役割】

- ・土地区画整理組合からの業務委託契約に基づき、組合の運営に関する事務、換地・設計・工事等といった土地区画整理事業の施行に関する業務

